

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第4区分
 【発行日】令和6年5月27日(2024.5.27)

【国際公開番号】WO2023/100424
 【出願番号】特願2023-564742(P2023-564742)

【国際特許分類】

C 2 2 C 38/00(2006.01)

C 2 2 C 38/60(2006.01)

C 2 1 D 9/46(2006.01)

10

【F I】

C 2 2 C 38/00 3 0 1 U

C 2 2 C 38/60

C 2 1 D 9/46 F

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月17日(2024.5.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

硬質相の平均結晶粒径は、以下のようにして決定される。まず、レペラー試薬にてエッチングした鋼板の表面から板厚方向に板厚1/2位置までの領域において500倍又は1000倍の倍率にて10視野観察し、Adobe社製「Photoshop CS5」の画像解析ソフトを用いて画像解析を行い、各視野における硬質相の面積分率及び硬質相の粒子数をそれぞれ算出する。次いで、10視野における硬質相の面積分率及び硬質相の粒子数をそれぞれ合計し、硬質相の合計面積分率を硬質相の合計粒子数で除すことにより、硬質相粒子あたりの平均面積分率を算出する。この平均面積分率と粒子数とから、円相当直径を算出し、得られた円相当直径を硬質相の平均結晶粒径として決定する。なお、観察面積は板厚方向150 μ m、圧延方向250 μ m(この場合の観察面積は150 \times 250=37500 μ m²)とする。

30

40

50